

CASA新聞

発行 株式会社カーザミカワ
岡崎本社 ☎0564-24-2511
岡崎市吹矢町88番地
豊田営業所 ☎0565-28-3891
豊田市豊栄町6丁目1番地

桧並材値上がり

針葉樹合板に先高観 名古屋地区

名古屋地区内は、伐り旬に入っても集材が伸び悩んでいるため、国産材の桧並材が値上がりした。外材は欧州材、米材製品ともに不足感が強まっており、国産針葉樹合板には先高観が見られる。国産材素材は、人手不足や猛暑といった要因に新型コロナナが加わり、集材環境が例年以上に厳しい一年となった。ただ、直近では製品不足を受けて桧並材が値上がりした。大手市場では依然として社寺用材の引き合いが弱く、輸出を手掛ける市場は今後の合板用材需要の回復を見込んで、立木や伐採班を確保し輸出用材の安定集材を図る。国産材製品は、土台など桧製品の一部に不足感があるものの、実需に影響はなく、今後の縮小均衡を危惧する声がある。地区内中堅製材工場は、設備投資の更なる留め手を最小限に留めている。通し柱を手掛ける工場は伐り旬の今も素材不足を訴えるが、素材の調達環境は徐々に好転している。

欧州材製品は入荷の減少や遅れで、品不足の傾向が強い。一方、今後値上がりした製品の入荷時期と実需の落ち込みが重なることを懸念する声も聞かれる。また、製品価格の先高観、運賃の値上がり、国内の実需の弱さ、ラミナ高などから、商社では年明け以降は価格転嫁せざるを得ない状況になると予想している。

Wウッド間柱は品不足が影響し一律での値上げが進んでいない。Wウッド集成管柱は安定調達で支持を集めていた国内物の納期が掛かる状況が続く。Rウッド集成平角は、年明けにかけても価格は変わらない見通し。

針葉樹合板はメーカーの減産で在庫が減っており、以前より納期が長くなっている。プレカット工場は受注を増やしているところもあるが、メーカーが増産に移行するかは不透明。現状の価格は保合だが、先高観も強くなっている。

グリーン住宅ポイント制度創設

住宅ローン減税も延長 国交省

国土交通省はグリーン住宅ポイント制度を創設した。8日に政府が閣議決定した経済対策に盛り込んだもので、2021年度税制改正では住宅ローン減税の延長も決まった。同制度では、新築の長期優良住宅やZEHに對し、通常40万円(戸)、東京圏からの地方移住の特例には100万円(戸)を発行する。同制度は、20年度第3次補正予算案で閣議決定した。21年10

10月住宅着工戸数、持家15カ月連続の減少

年率は80.2万戸

国土交通省は11月30日、10月の新設住宅着工戸数を発表した。前月に続き、持家・貸家・分譲住宅の全分野が減少し、全体で前年同月比8.3%減の7万685戸となり、16カ月連続の減少となった。季節調整済み年率換算値は前月比1.6%減の80.2万戸で3カ月連続の減少となった。利用関係別では、持家が前年

同月比6.1%減の2万3013戸で15カ月連続の減少となり、10月としては過去10年間で最も低い水準となった。貸家は同11.5%減の2万6043戸で26カ月連続、分譲住宅も同9.6%減の2万706戸で12カ月連続の減少。マンション、一戸建て共に減少した。

国産合板商況

国産針葉樹合板は全国的に品薄が続く。直需向けの定額注文は安定した入荷は見えないが、予定外の追加注文の納期を要する。国内合板メーカーは出荷量の削減や注文量を勘案しながら翌月の生産量を決めるため、追加注文など突発的な注文に対応するための在庫は減少傾向が続いている。10月も

針葉樹合板の生産量25万5300立方メートルに対し、出荷量が26万9100立方メートルを上回った。在庫量は11万7100立方メートルで前月比1万4200立方メートル減となり、昨年末の在庫量を下回っている。12月の受注も好調で多くのメーカーで販売の7割以上が埋まり、既に販売枠が埋まりきったメーカーも出てきている。

11月31日までに契約した高い省エネ性能を持つ新築住宅購入が対象になる。住宅投資を喚起し、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ住宅市場を回復を図る。軸となるのは「省エネ」と「新たな日常」だ。補助発行の基本条件是高い省エネ性能で、新たな日常に對する特例としてポイントが加算され、新たな日常への対応を軸として、追加工事と商品が即時交換する。

対象物件は新築戸建てと新築賃貸。既存住宅購入とリフォームの4種類。新築戸建ての対象は高い省エネ性能(長期優良住宅・ZEH等)を有する住宅(基本40万円/戸、特例10万円/戸)と、省エネ基準に適合する住宅(基本30万円/戸、特例60万円/戸)の2つ。特例とは、東京圏から地方移住するための住宅、多世代(3人以上)世帯が取得する住宅、3世代同居仕様の住宅、災害リスクが高い区域から移転するた

め、既存住宅を指す。では、東京圏から地方移住、災害リスクが高い区域からの移転、空家バンク登録住宅は、30万円/戸(住宅の除却を伴う場合は45万円/戸)、住宅の除却に伴い購入する既存住宅は15万円/戸が付与される。リフォームは省エネ改修と耐震改修、バリアフリー改修等に最大30万円/戸(若年・子育て世帯は上限引き上げ)はポイントが1円相当で、新たな日常、防災に對

応した追加工事、新たな日常、環境資する商品との即時交換が可能。テレワークのスペースや、非接触型の水栓などが対象。一方、21年度税制改正では、住宅ローン減税や住宅取得時の贈与税非課税措置などを延長する。住宅ローン減税は入居期限を2年延長し、22年末までとする。対象となる住居面積も、これまでの50平方メートルから40平方メートル以上に緩和する。単身や2人世帯が増えていることに対応した。

こうしたなか、メーカー、流通とも値上げのタイミングを模索。既にメーカーや商社、大手問屋が6/7月に下がる前の価格帯に近付けた。値上げを提案する動きも。現時点では直需、木建ルートとも、来年以降の需要動向の不透明感から値上げへの抵抗が強く、上値の上昇には至っていないが、12月は値上げに向けた動きが一段と活発化しそうだ。

名古屋

針葉樹合板は上向いた住宅実需を背景に川下の手当が進んでいる。合板メーカーは減産で在庫が減少し、以前よりも納期が長い。価格面は先高観が強くなっている。今後はメーカーの対応次第だが、増産に移行するかは不透明だ。需要家であるプレカット工場は新規受注が増え、来年1月下旬まで加工スケジュールが埋まったところも。

表示説明	値下げ	横ばい	値上げ
市況状況	ラワン薄ベニヤ	・	・
	ファルカタ構造用12mm	・	・
	針葉樹12mm 3×6	・	・